

阿波市の問題点に対応する課題と取り組みの方向性及び基本方針(案)

問題点に対応する課題(再掲)

(1)現状に基づく課題

- 1.人口減少化での移動手段の確保
- 2.市民の移動ニーズに合ったサービスの提供
- 3.交通空白地の対応

(2)社会的・地域的な課題

- 1.高齢者、運転免許証返納者の安全な移動の確保
- 2.通学者の移動の確保
- 3.山間部における移動の確保
- 4.市外への簡便なアクセス
- 5.新たな交通手段の検討

(3)調査から導きだされる課題

- 1.運転免許非保持者や高齢者、公共交通空白地域居住者等が移動できる公共交通が必要
- 2.移動ニーズに対応する交通手段
- 3.公共交通の認知度向上が必要
- 4.新たな交通手段の導入を含めた市の公共交通網の検討が必要
- 5.公共交通の継続に向けた地域住民との協働が必要

(4)市政の目標による課題

- 1.協働・創造・自立のまちづくり(総合計画)を支える公共交通ネットワークの形成
- 2.市民誰もが安価で自立的かつ安全に移動できる移動環境の確保
- 3.交流拠点等へのアクセス交通手段の確保
- 4.市民や関係者等の参画・協働を促進し、財政負担を考慮した効率的な公共交通の運行

公共交通の取り組みスタンスから見た再整理

1. 市民の移動ニーズに合った、公共交通の運行による公共交通空白地域の改善

- ・市全域で、交通弱者をはじめ市民誰もが気軽に利用でき、自立的かつ安全に移動できる交通手段
- ・市民の移動ニーズに対応し、運転免許証返納を促進する交通手段
- ・市民がよく利用する市内外の施設等へのアクセス確保

2. 利用に見合った効率的な公共交通の運行

- ・利用者数が少なく、改善しても利用意向が低い路線バスの見直し
- ・市の財政負担を考慮した、効率的な交通手段

3. 公共交通の維持存続に向けた地域住民や関係者との協働

- ・まちづくりを支える公共交通網の形成に向けた地域住民や関係者との協働
- ・市民の積極的な利用による、市民みんなで支える意識の醸成

課題に対する取り組みの方向性

1. 新たな交通モードの運行による持続可能な移動手段確保の検討

- 地域や関係者との協働により、市民の移動やサービス等のニーズに対応した交通手段の導入を検討(実験運行)
- 交通弱者をはじめ、市民誰もが気軽に利用しやすく、公共交通空白地域改善に資する、安全で効率的な交通手段の導入を検討(実験運行)

2. 利用状況や利用意向に対応した路線バスの見直し

- 路線バスの利用者数や沿線等の利用意向、交通事業者の意向を踏まえた見直し

3. 地域住民や関係者との協働に向けた関心を高めるための働きかけ

- 公共交通の認知度向上のための情報提供・PR
- 地域住民や関係者との協働に向けた勉強会やモビリティマネジメントの取り組み

基本方針

- ◆交通弱者をはじめ、市民誰もが安心して利用できる日常生活を支援する公共交通
- ◆市民ニーズへの対応や公共交通空白地域の改善に資する、新たな交通モードを組み合わせた効率的な公共交通
- ◆地域住民や関係者との協働により、維持存続し続ける公共交通